



The Parkhouse

ザ・パークハウス 神戸ハーバーランドタワー



KOBE, JAPAN

地上36階建・総345邸 超高層制振タワーレジデンス
神戸ハーバーランド、海への最前列に誕生。



ガーデンテラス完成予想図



オーナーズラウンジ & コンシェルジュカウンター完成予想図



ビューラウンジ完成予想図



レジデンスギャラリー案内図
レジデンスギャラリーには、駐車場のご用意がございます。詳しくはレジデンスギャラリーまでご連絡ください。

モデルルーム公開中 55.95㎡~124.16㎡ 多彩なプランバリエーションをご用意

■物件全体概要 ●名称/ザ・パークハウス 神戸ハーバーランドタワー ●所在地(地番)/兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目75番4 ●交通/JR神戸線「神戸」駅(南口)より徒歩7分 ●総戸数/345戸(他に管理室等) ●敷地面積/4,292.96㎡(売買対象面積) ●建築面積/1,447.97㎡ ●延床面積/42,590.12㎡ ●構造・規模/鉄筋コンクリート造・地上36階地下1階 ●用途地域/商業地域 ●建築確認済証番号/第1126種更建築GBRC00002号(平成26年4月23日) ●駐車施設(総戸数に対して)207台(平置き3台・タワー型204台) ●月額使用料/19,000円~32,000円 ●自転車置場(総戸数に対して)660台 ●月額使用料/100円~500円 ●バイク置場(総戸数に対して)7台(内、大型バイク用2台) ●月額使用料/2,000円~3,000円 ●ミニバイク置場(総戸数に対して)23台 ●月額使用料/1,000円 ●その他費用/インターネット利用料※月額1,375円 ●分譲後の敷地の権利形態/専有面積割合による所有権の共有 ●管理形態/管理組合成立後、三妻地所コミュニティ株式会社に管理委託(24時間有人管理) ●建物完成/平成27年10月中旬予定 ●お引渡し/平成27年12月中旬予定 ●売主・販売提携(代理)/三妻地所レジデンス株式会社大阪支店 〒530-6015大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号OAPタワー15階 国土交通大臣免許(14)第408号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 ●三菱倉庫株式会社神戸支店 〒650-8691兵庫県神戸市中央区東川崎町一丁目7番4号ハーバーランドダイアニックビル 国土交通大臣免許(13)第591号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 ●安田不動産株式会社関西支店 〒650-0034兵庫県神戸市中央区京町72番地新レセントビル7F 国土交通大臣免許(4)第5729号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 ●山陽電気鉄道株式会社 〒653-0843兵庫県神戸市長田区御屋敷通三丁目1番1号 兵庫知事免許(15)第40号、(一社)兵庫県宅地建物取引業協会会員、(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟 ●販売提携(代理)/有明ハウス株式会社 〒531-0072大阪府大阪市北区豊崎五丁目2番18号大阪府知事免許(3)第49547号、(社)大阪府宅地建物取引業協会会員、(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟 ●設計・施工/株式会社大林組 ●第2期4次販売戸概要 ●販売戸数/未定 ●間取り/1LDK~3LDK ●専有面積/55.95㎡~124.16㎡ ●バルコニー面積/10.36㎡~25.56㎡ ●販売価格/未定 ※掲載の地図データは平成25年9月の調査に基づきます。※掲載の各完成予想図は、図面を基に描き起こしたもので、また、外観完成予想図は現地周辺の写真(平成25年11月撮影)と合成しCG処理を加えたもので実際とは異なります。雨樋、エアコン室外機、給湯器、TVアンテナ等再現されていない設備機器等がございます。植栽は、特定の季節やご入居時の状態を想定して描かれたものではありません。また、家具・照明器具・調度品等は、実際に設置されるものと異なる場合があります。 ※上記販売戸概要は、第2期4次以降に供給予定の全住戸(150戸)の内容を表示しています。確定情報は本広告にてご案内致します。※記載の概要は、平成26年10月14日現在のものです。販売戸等の最新情報は物件HPをご覧ください。

予告広告 本広告を行い取引を開始するまでは、契約または予約の申込、並びに申込順位の確保には応じられません。予めご了承ください。 ●販売開始時期/平成26年10月中旬予定

0120-056-360 営業時間/10:00~18:00 定休日/水曜日(祝日を除く) ハーバー345 検索

三菱地所レジデンス 近畿菱重興産 三菱倉庫 安田不動産 山陽電気鉄道

兵庫医科大学病院 支援部門紹介 臨床栄養部

●主な業務

食事療法(病院食)

食事の安全性を高めるための調理システム(クックチル)を導入し、より患者さんの満足度を高めるため、朝夕の選択メニューや温冷配膳車による適温サービスなどを行っています。治療食としては、エネルギー・たん白質・脂質・塩分・カリウム・鉄・易消化性等、その病態に応じた食事の提供を行っています。

栄養指導

医師の指導に基づいて行う「個人指導」や、糖尿病、腎臓病、心臓病・高血圧・脂質異常症、肝臓病、妊産婦教室の「集団指導」のほか、炎症性腸疾患に関する栄養教室も始めています。

糖尿病透析予防指導管理

糖尿病からの透析移行を予防するため、医師・看護師・管理栄養士が連携して、運動と栄養、治療の面から重点的な医学管理を行っています。

入院栄養管理

入院時に栄養スクリーニングを看護師が行い、必要に応じて管理栄養士が患者さんと面談し、中等度以上の栄養状態不良の患者さんには看護師と管理栄養士が共同して栄養管理を行っています。

栄養サポートチーム(NST)によるアドバイス

摂食障害や消化吸収障害などが原因で、栄養管理に高度な技術が必要な栄養状態の悪い患者さんには、医師をリーダーとした多職種により構成された「栄養サポートチーム(NST)」が、栄養治療に対し総合的にアドバイスをしています。病棟担当管理栄養士が対象となる患者さんをピックアップし、NST専従管理栄養士が病棟と連絡を取りながら、現在全病棟のラウンドを行っています。

臨床栄養部では、専任医師および管理栄養士10名が、病院で提供する食事についての安全性と満足度を高めるための取り組みや、患者さん一人ひとりの栄養面でのサポートを行っています。若く熱意を持ったスタッフが多いのが特徴です。



患者さんを栄養面からサポートします



臨床栄養部 ともた なおひろ 富田 尚裕 部長

臨床栄養部のもっとも大きな役割の一つが、入院患者さんにより安全でおいしい食事を提供することです。「食べる」というのは、人間の基本的な欲求の一つ。患者さんを少しでも元気づけられるよう、ご要望にできるだけ応えられるよう努力しています。

それと同時に、医療における管理栄養士の役割も大きくなっています。糖尿病や腎臓病など、食事が治療に密接に結びつく疾患はもちろん、すべての領域・疾患において、栄養面のサポートは欠かせません。治療の効果を上げる、あるいは疾病の予防につなげるために、個人指導や集団指導のほか、医師や看護師・薬剤

師など多職種で構成する栄養サポートチームの一員として病棟をまわりながら、管理栄養士が専門的なアドバイスをしています。特に、兵庫医科大学病院には炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)の患者さんが多いため、炎症性腸疾患センターと連携して、患者さんやご家族を対象にした栄養教室も実施しています。

病院食の栄養計算をするだけではなく、病棟をまわって患者さんの食事への想いを肌で感じたり、治療の一環として栄養指導を行ったりと、臨床の現場で患者さんと直接向き合うことこそ大切。そうした思いのもと、従来は「栄養部」だった部門を「臨床栄養部」に改称しました。病気の予防という観点からも管理栄養士の幅広い知識や経験が重要となってくる中で、医療スタッフの一員としての意識を高く持ち、患者さんしっかりと寄り添っていきたくと思います。